

# 地域公共交通計画の進捗について

## <目次>

- ① 成果指標の進捗
- ② 進捗管理指標の進捗

# ①成果指標の進捗

## 成果指標の概要

- 各指標について、さいたま市や交通事業者のデータを取得し集計する。
- アンケート調査が必要なものは、随時調査を行う予定。

成果指標		データ		データ取得方法	
		データ出所	更新時期	公表	照会
誰もが暮らしやすい地域社会の実現	①公共交通等による人口カバー率	さいたま市 (住民基本台帳、バス路線マップ)	毎年	●	
	②市内の鉄道・バス利用者数	交通事業者 (提供データ)	毎年		●
公共交通の維持・確保	③コミュニティバス等全体の収支率	交通事業者 (提供データ)	毎年	●	
	④自動車の代表交通分担率（市内移動）	さいたま市 (東京都市圏パーソントリップ調査)	R10（予定）		●
利用者ニーズの充足	⑤市民の鉄道・バスに対する満足度	さいたま市 (都市交通戦略アンケート調査)	毎年	●	

## R4年度末の進捗状況

- コロナ後の移動需要回復により、鉄道・バスの利用者数が増加。
- 市民の鉄道に対する満足度は増加した一方、バスに対する満足度が減少。

成果指標	現況値 ※R3末	現況値 ※R4末	目標値 ※R13満了時	成果指標・目標値の設定理由
①公共交通等による人口カバー率	91.7%	91.7% (±0)	95.0% (+3.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集約型都市構造の形成を見据えつつ、公共交通ネットワークの再編、サービス改善、地域資源の総動員により、市内の交通空白地区を解消し、公共交通等による人口カバー率を引き続き向上することを目指す。</li> </ul>
②市内の鉄道・バス利用者数	342百万人	372百万人 (+30百万人)	423百万人 (+81百万人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通ネットワークの再編、サービス改善、利用促進方策により、現状のトレンドから想定される市内の鉄道・バス利用者数の低下を抑え、現状と同程度の水準に回復することを目指す。</li> </ul>
③コミュニティバス等全体の収支率	24%	25% (+1%)	40%以上 (+16%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用状況と効率性の観点から、「コミュニティバス等導入ガイドライン」に示す水準を目指す。</li> </ul>
④自動車の代表交通手段分担率（市内移動）	27.5%	R10調査	27.0% (-0.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境と安全性の観点から、自動車から鉄道・バス・自転車や徒歩への転換を促し（モビリティマネジメント）、自動車の代表交通分担率の減少を目指す。</li> </ul>
⑤市民の鉄道・バスに対する満足度	鉄道:61.2% バス:34.4%	鉄道:61.4% (+0.2%) バス:30.6% (-3.8%)	鉄道:70% (+8.8%) バス:40% (+5.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通サービスの利便性向上により、市民の鉄道・バスに対する満足度の向上を目指す。</li> </ul>

## ②進捗管理指標の進捗

## 進捗管理指標の概要①

- 各指標について、さいたま市や交通事業者のデータを取得し集計する。
- アンケート調査が必要なものは、随時調査を行う予定。

基本方針	進捗管理指標	データ		データ取得方法	
		データ出所	更新時期	公表	照会
1. 効率的・効果的な公共交通ネットワークの形成・強化	①市内道路の渋滞状況（主要渋滞箇所数等）	さいたま市 （主要渋滞箇所）	毎年		●
	②朝ピーク時における路線バス遅れ時間（大宮駅、浦和駅、北浦和駅）	交通事業者 （提供データ）	随時		●
	③シェアサイクルのポート数	交通事業者 （提供データ）	毎年		●
	④シェアサイクルの利用回数	交通事業者 （提供データ）	毎年		●
	⑤コミュニティバス等の年間利用者数	交通事業者 （提供データ）	毎年	●	
	⑥コミュニティバス等の収支率	交通事業者 （提供データ）	毎年	●	
	⑦コミュニティバス等に係る補助金額	交通事業者 （提供データ）	毎年	●	

## 進捗管理指標の概要②

- 各指標について、さいたま市や交通事業者のデータを取得し集計する。
- アンケート調査が必要なものは、随時調査を行う予定。

基本方針	進捗管理指標	データ		データ取得方法	
		データ出所	更新時期	公表	照会
1. 効率的・効果的な公共交通ネットワークの形成・強化	⑧鉄道混雑率	国土交通省 (都市鉄道の混雑率調査結果)	毎年	●	
	⑨鉄道の「車内の混雑状況」に対する市民満足度	さいたま市 (アンケート調査)	随時		調査
2. 公共交通相互の連携を強化する交通結節機能の向上	⑩長距離バスの発便数（さいたま新都心バスターミナル）	さいたま市 (集計データ)	毎年	●	
	⑪駅施設に対する満足度	さいたま市 (アンケート調査)	随時		調査
	⑫バス停環境に対する満足度	さいたま市 (アンケート調査)	随時		調査
3. 快適に利用でき、みんなで支え、育む公共交通	⑬MaaS等のICT活用に関する取組の導入・検討件数	さいたま市 (スマートシティ施策等)	毎年		●
	⑭公共交通の利用促進のための教育・啓発活動の取組数	さいたま市 (コミバス等地域組織、MM)	毎年		●

## R4年度末の進捗状況①

- 都市計画道路の整備等により、道路の渋滞箇所が減少。
- シェアサイクル自体の視認性向上による登録者、利用者及び設置場所の増加。
- コロナ行動制限緩和に伴う移動需要回復により、コミュニティバス等の利用増加。

進捗管理指標	現状値 ※R3末	現状値(増減) ※R4末	目指すべき方向性	計画目標 への寄与
①市内道路の渋滞状況（主要渋滞箇所数等）	56箇所 (2020年度)	56箇所(±0) (2021年度) 54箇所(-2) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線軸沿線のバス走行環境の充実等の施策進捗を見込み<b>減少</b>を目指す</li> </ul>	満足度 分担率
②朝ピーク時における路線バス遅れ時間（大宮駅、浦和駅、北浦和駅）	平均5分超 (2018年度)	随時調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線軸沿線のバス走行環境の充実等の施策による効果を見込み<b>減少</b>を目指す</li> </ul>	満足度 分担率
③シェアサイクルのポート数	368箇所 (2021年度)	393箇所(+25) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクルの利用促進等の施策進捗を見込み<b>増加</b>を目指す</li> </ul>	分担率
④シェアサイクルの利用回数	年間79.3万回 (2021年度)	年間101.0万回(+21.7) (2022年度)		分担率
⑤コミュニティバス等の年間利用者数	33.0万人/年 (2021年度)	37.0万人/年(+4.0) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によるコミュニティバス利用促進の活性化を見込み、<b>増加・向上</b>を目指す</li> </ul>	利用者数
⑥コミュニティバス等の収支率	24% (2021年度)	25%(+1) (2022年度)		収支率
⑦コミュニティバス等に係る補助金額	772円/人・年 (2021年度)	680円/人・年 (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス利用促進の取組による利用者増加を見込み、<b>減少</b>を目指す</li> </ul>	収支率

## R4年度末の進捗状況②

- コロナ後の移動需要回復により、長距離バスの発便数が増加。
- 公共交通への転換や利用促進に向けて、さいたま市のイベントブース出展等による取組数が増加。

進捗管理指標(9)	現状値 ※R3末	現状値(増減) ※R4末	目指すべき方向性	計画目標 への寄与
⑧鉄道混雑率	159% (2019年度)	110%(-49) (2020年度) 115%(-44) (2021年度) 129%(-30) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道ネットワークの活用に関する施策進捗を見込み<b>低下</b>を目指す</li> </ul>	満足度 分担率
⑨鉄道の「車内の混雑状況」に対する市民満足度(満足・やや満足)	9.6% (2018年度)	随時調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道ネットワークの活用に関する施策進捗を見込み<b>上昇</b>を目指す</li> </ul>	満足度
⑩長距離バスの発便数(さいたま新都心バスターミナル)	21便 (2021年度)	24便(+3便) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域交通拠点・結節点の整備進捗を見込み<b>増加</b>を目指す</li> </ul>	利用者数
⑪駅施設に対する満足度	19.40% (2018年度)	随時調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点の整備進捗による効果を見込み<b>上昇</b>を目指す</li> </ul>	満足度
⑫バス停環境に対する満足度	9.90% (2018年度)	随時調査		利用者数 満足度 分担率
⑬MaaS等のICT活用に関する取組の導入・検討件数	3件 (2021年度)	3件(±0) (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通システムの高度化・情報案内サービスの提供に関する施策の着実な実施を図るため、<b>継続的に実施するものが増加</b>していることを目指す</li> </ul>	カバー率 利用者数 分担率
⑭公共交通の利用促進のための教育・啓発活動の取組数	14件 (2021年度)	19件(+5) (2022年度)		利用者数 分担率